

かみねっちょ新聞

令和 5年 1月号

チンパンジーの「千ヨ」ちゃん元気に成長中！



2021年8月8日生まれ



現在1歳5か月

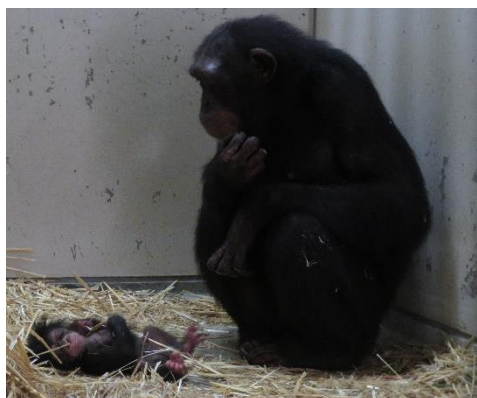
とっても活発！

体重は7.8kgと

平均よりだいぶ

重くないました…

出生体重は1750g(平均は約1800g)



お母さんはイチゴ。初めての出産でした。確認した時には藁の上に赤ちゃんを置いて大事そうに眺めていました…

イチゴ自身が人工保育のためどうやって子育てをすればいいのか分からない様子でした。



千ヨは結果として人工保育になりましたが、コミュニケーションを大切にするチンパンジーにとっては早い段階で群れの一員として過ごせるようになることが必要でした。

元気に成長してもらうとともに毎日お見合いを重ね、少しずつ大人たちと一緒にしていき、現在ではほぼ全員と一緒に過ごせるようになりました。

なかなか皆様の前に出てくる事が出来ませんでした、今年群れの一員として過ごしている姿を見てもらえたらなと思っています。

もう少しの間お待ちください！

飼育員 おおぐり



獣医のつぶやき

～干支ですが、それが何か?～

『今月のかみねっちょ新聞は、獣医室ですよ。明日までお願いします。』と今日いわれた私は、がびーんとなり、何のネタにしようかと考えたところ、1月号なので、やっぱり干支だよね。ということで『ウサギ』について書くことにしました。現在、ペットで飼われているウサギや動物園で飼育されているウサギたちも、元は『アナウサギ』を品種改良して家畜化したもので、『カイウサギ』と言います。白くて、赤い目のウサギも品種改良したものです。実に、カイウサギの品種は 150 種以上とされています。ウサギ好きの方なら知っているであろうロップイヤー、ネザーランドドワーフなどという名称は、その品種にあたります。最近では、ペットとして飼育されていますが、以前は食用や毛皮をとる目的で飼育されていた品種もあり、フレミッシュジャイアントは食用、レッキスは毛皮をとる品種として飼育されていたようです。ウサギもかわいいだけではなく、深く人間とかかわっている動物であることがわかります。「アナウサギ」は名前の通り、穴を掘って巣をつくる種で、品種改良された「カイウサギ」も同じ行動をします。ふれあい広場の『ウサギのひろば』では、穴掘りに精を出す『穴掘り名人』たちが見られますよ。

獣医師 いいだ



「アイヒエリコ」 さく・なめかわ



YouTube

SNSでも写真や動画、最新の情報をお知らせ中!



Facebook

Twitter



2月の予定

25(土) かみね・おもしろ ZOO サロン



詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください

または 0294(22)5586 まで

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます!

2023年は卯年!

かみね動物園もびよんびよんと躍進できるように職員

一同精進して参りますので、よろしくお祈りします!!

